

【県長期計画後期実施計画への対応】

1 愛媛の現在と未来を担う人材の育成

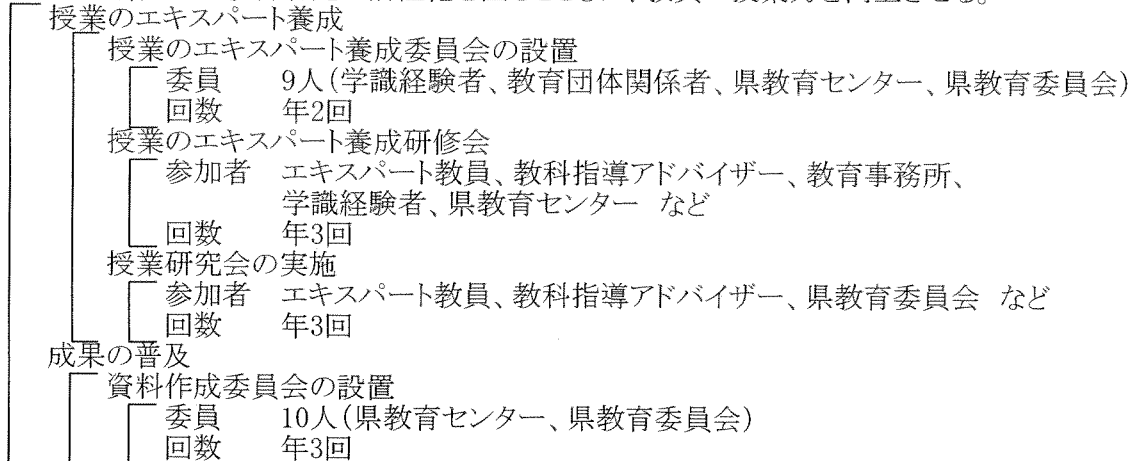
(1) 教育立県えひめの創造

【輝くふるさと枠対象事業】

授業のエキスパート養成事業費(教育委員会 義務教育課)

316万円

授業のエキスパートを養成することにより、新学習指導要領に対応した実践研究と授業評価システムを踏まえた教科研の活性化を図るとともに、教員の授業力を向上させる。



【輝くふるさと枠対象事業】

学力向上プロジェクト事業費(再掲)(教育委員会 義務教育課)

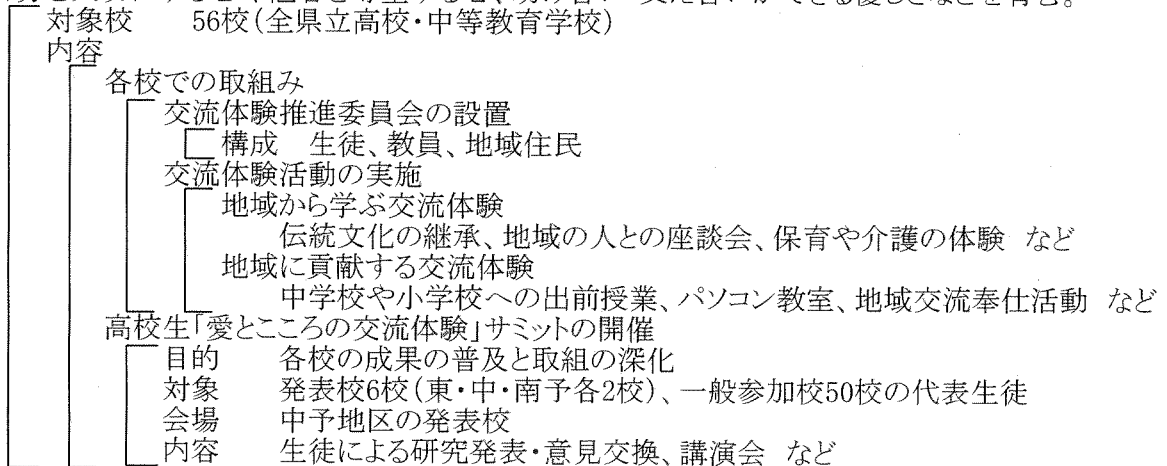
275万円

【輝くふるさと枠対象事業】

高校生「愛とこころの交流体験」推進事業費(教育委員会 高校教育課)

457万円

高校生が地域の幅広い世代の人々と交流し、地域に学び、貢献する様々な体験活動を通して、自分を大切にできる心や他者を尊重する心、助け合い・支え合いができる優しさなどを育む。



◎ えひめ学力向上チャレンジハイスクール事業費(教育委員会 高校教育課) 230万円

新学習指導要領改訂の柱をテーマにして、生徒に基礎的・基本的な知識等を習得させ、主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、より高い目標の実現を目指す生徒を支援するため、指定校における実践研究を推進する。

研究指定校	9校程度
期間	3年間
内容	外部講師による講演会、先進校視察 など
研究主題	言語活動の充実 論理的に思考し表現する能力を育むための指導方法の工夫 など 理数教育の充実 科学系人材育成のための外部機関との効果的な連携のあり方や指導方法の工夫 など 職業教育の充実 職業人としての規範意識・倫理観を育成し、知識・技術の向上を図るための科目の構成・内容の工夫 など

私立学校運営費補助金(総務部 私学文書課) 52億3,405万円

私立学校における経営の安定化と保護者負担の軽減を図るための運営費助成

	(高等学校)	(中学校)	(幼稚園[満3歳児分])
1人当たりの補助額	291,787円	284,124円	160,775円 [96,465円]
生徒数(推計)	8,392人	1,485人	14,051人 [608人]
	<input type="checkbox"/> 高校は推計生徒数から過去3年間の平均異動生徒総数の1/2を控除 <input type="checkbox"/> 高校、中学は定員の5%を超える県外生の1/2を控除		

◎ 私立高等学校等就学支援金補助金(総務部 私学文書課) 12億7,963万円

私立高校生のいる世帯に対し、教育費の負担軽減を図るため、高等学校等就学支援金を助成する。

補助交付先	私立高等学校(中等教育学校後期課程、通信制高等学校及び専修学校高等課程を含む)を設置する学校法人	
補助単価	高校生1人当たり年間118,800円 (年収250万円未満の世帯は年間237,600円/人、年収250万円以上350万円未満の世帯は年間178,200円/人)	
対象者数	全日制高等学校	8,435人
	通信制高等学校	1,133人
	専修学校高等課程	220人
負担区分	国10/10	

私立高等学校授業料減免事業補助金(再掲)(総務部 私学文書課) 6,818万円

【輝くふるさと枠対象事業】

「いじめ相談ダイヤル24」開設事業費(教育委員会 人権教育課) 782万円

いじめ問題等への対応に万全を期すため、24時間体制でいじめ根絶に向けた電話相談を実施する。

設置場所	県総合教育センター教育相談室
相談時間	24時間体制(年末年始を除く)
相談員	17人(教員OB など)
内容	いじめ問題の根絶に向けた児童生徒への電話相談
負担区分	国1/3 県2/3

県立学校校舎等整備事業費(再掲)(教育委員会 高校教育課) 17億5,963万円

県立学校校舎等整備事業費(2月補正)(教育委員会 高校教育課) 3億9,964万円

県立学校校舎等の耐震化を促進するため、改築工事の前倒し実施等を行う。

改築工事		(現 行)		(改築計画)	
(学校名)	(対象建物)	(建築年度・構造)		(構造・面積)	
南宇和	普通教棟	S36	RC3F	木造	2F 1,260㎡
八幡浜工業	本館	S37、S37	RC3F、RC3F	RC(木質)	4F 3,386㎡
東予	本館	S37、S37	RC3F、RC3F	RC(木質)	4F 3,911㎡
耐震補強工事(8校 8棟)		(建築年)	(構造)	(面積)	
(学校名)	(対象建物)				
大洲農業	本館	S46	RC4F	2,311㎡	
新居浜商業	本館	S38	RC3F	2,319㎡	
川之石	特別教棟	S41	RC3F	1,330㎡	
土居	普通教棟	S44	RC3F	983㎡	
吉田	体育館	S48	RC2F	1,670㎡	
宇和島東	体育館	S46	RC2F	1,632㎡	
しげのぶ	普通教棟	S39	RC2F	1,088㎡	
みなら	本館	S46	RC2F	926㎡	

◎ 今治東中等教育学校スクールバス整備事業費(教育委員会 高校教育課) 2,058万円

前期課程に在籍する遠距離通学生の負担を軽減するため、スクールバスを整備する。

定員	65人
運行開始時期	22年9月
(安心こども基金を充当)	

◎ 特別支援学校スクールバス整備事業費(教育委員会 特別支援教育課) 2,011万円

今治特別支援学校に大型スクールバスを整備し、既存の中型スクールバスをみなら特別支援学校で活用することにより、保護者の負担を軽減する。

今治特別支援学校	
定員	47人
運行開始時期	22年10月
みなら特別支援学校(管理換え)	
定員	35人
運行開始時期	22年10月
(安心こども基金を充当)	

◎ 特別支援学校放課後待合室空調設備整備事業費(教育委員会 特別支援教育課)

869万円

保護者の迎えやスクールバスの出発までの間、待合室となる教室に空調設備を整備して児童生徒に快適な環境を提供することにより、地域での子育て支援を推進する。

整備対象校・教室	
今治特別支援学校	音楽室
みなら特別支援学校	小中学部音楽室、高等部音楽室
宇和特別支援学校	プレイルーム、自立活動室
(安心こども基金を充当)	

◎ 今治特別支援学校新居浜分校体育館整備事業費(再掲)(教育委員会 特別支援教育課)

2億1,817万円

(2)スポーツ立県の実現

競技力向上対策本部事業費(再掲)(教育委員会 保健スポーツ課) 1億9,591万円

【輝くふるさと枠対象事業】

◎ 第72回国民体育大会競技役員等養成事業費(再掲)(教育委員会 保健スポーツ課) 863万円

【輝くふるさと枠対象事業】

◎ 競技力向上対策競技用具整備事業費(再掲)(教育委員会 保健スポーツ課) 1,069万円

【輝くふるさと枠対象事業(一部)】

プロスポーツ地域振興事業費(企画情報部 企画調整課) 317万円

県内で誕生したプロスポーツを確実に定着させ、県民総ぐるみで地域資源として積極的に活用することにより、地域の活性化を図る。

プロスポーツ地域振興協議会の運営	
構成	県、全市町、経済団体、物産・観光関係団体、農林水産団体、体育団体 など
内容	地域密着型スポーツフォーラム
時期	22年10月～12月
場所	県内3か所程度
内容	プロスポーツ振興と地域活性化を組み合わせた事業展開手法についての先行地域からの事例紹介 など
	新たなファン層拡大に関する取組み
	PR活動(愛媛FCアウェーゲーム会場でのイベント、旬彩館でのフェア など)
愛スポカレンダーの作成	
時期	22年9月～
部数	5,000部
プロスポーツ活用推進本部の開催(ゼロ予算)	
構成	本部長:副知事、副本部長:知事補佐官、本部員:教育長、公営企業管理者、知事部局本庁各部長、警察本部長
内容	庁内横断的にプロスポーツを活用した地域振興方策を検討
愛媛FC、愛媛マンドリンパイレーツの経営に対する助言	
健全経営委員会の運営	
構成	税理士、企業戦略専門家、学識経験者、県・松山市主管部長
回数	年各2回

◎ 愛媛マンドリンパイレーツ地域活動推進事業費(再掲)(企画情報部 企画調整課) 317万円

◎ 総合運動公園改修実施設計費(再掲)(教育委員会 保健スポーツ課) 1億6,000万円

(3)個性豊かな文化の創造

【輝くふるさと枠対象事業】

○ 四国へんろ世界文化遺産推進事業費(再掲)(企画情報部 企画調整課) 1,546万円

◎ 県民文化会館多目的室設置事業費(教育委員会 文化振興課) 2,071万円

パスポートセンター移転に伴う空きスペースを多目的室に改修し、多様な文化活動への利用を可能とすることにより、新たなニーズへの対応を図る。

改修内容	間仕切りの撤去、床の改装、電気・照明・音響設備改修 など
収容人員	150人(着席)

美術館展示事業費(教育委員会 文化振興課)

9, 135万円

- 常設展示の運営
- 企画展の開催
 - 分野 絵画・デザイン・彫刻 など
 - 22年度開催計画
 - 現代美術の今ーネオテニー・ジャパン 高橋コレクションー展(現代美術)
 - ル・コルビュジェ展(絵画等)
 - ガンダムを造った男 大河原邦男展(アニメデザイン)
 - 国立美術館所蔵 工芸・デザイン名品展(デザイン等)
 - インカ帝国のルーツ「黄金の都シカン」展(彫刻等)
 - 白洲正子展(絵画等)

【輝くふるさと枠対象事業】

- ◎ 愛媛ゆかりの有望芸術家等支援事業費(再掲)(教育委員会 文化振興課) 752万円
- 愛媛オペラ2010「ラ・ボエーム」実施事業費(再掲)(教育委員会 文化振興課) 3, 270万円

【輝くふるさと枠対象事業】

地域伝統文化キッズ・カーニバル開催事業費(教育委員会 文化振興課) 304万円

子どもたちへの伝統文化の伝承気運の盛り上がりを加速、定着させるため、団体主導による地域伝統文化を伝承する組織づくりを支援する。

- 対象 子どもたちを対象に地域伝統文化等を継続指導している団体
- 内容 連携組織づくりの支援
- 成果発表の場の提供
 - 時期 23年2月27日(日)
 - 会場 ひめぎんホール(県民文化会館)
 - 内容 舞台発表、展示・実演発表、記念講演 など
- 指導者の顕彰

- 萬翠荘環境整備・保存事業費(2月補正)(再掲)(教育委員会 文化振興課) 5, 695万円

【輝くふるさと枠対象事業】

萬翠荘環境整備・保存事業費(再掲)(教育委員会 文化振興課) 261万円

【輝くふるさと枠対象事業】

- ◎ こども文化体験教室開催事業費(教育委員会 文化振興課) 205万円

県内の芸術家等を講師として、小学生を対象とした合宿による文化体験機会を提供することにより、豊かな人間性を育むとともに、本県文化の振興を図る。

- 県文化協会に委託
 - 主催 県教育委員会、県文化協会
 - 対象 小学4～6年生
 - 講師 県文化協会会員の県内芸術家等
 - 日程 2泊3日(22年8月)
 - 会場 えひめ青少年ふれあいセンター、県生涯学習センター
 - 定員 80人(生活文化、芸術文化、文芸、美術等の各分野別コース)
 - 内容 講義、実技披露、実技体験、発表作品の制作、成果発表、相互鑑賞

【輝くふるさと枠対象事業】

- 重要伝統的建造物群保存修理費補助金(教育委員会 文化財保護課) 1,925万円

内子町の重要伝統的建造物群保存地区を活かした南予地域の文化振興及び活性化を図るため、保存修理事業に対して助成する。

交付先	内子町	
対象	八日市護国伝統的建造物群保存地区修理	上芳我家住宅保存修理
期間	22年度	19～22年度
補助率	国庫補助残の1/3以内(町2/3)	国庫補助残の1/3以内(町2/3)

【輝くふるさと枠対象事業】

- ◎ えひめ教育月間「郷土の歴史・文化再発見」事業費(教育委員会 文化財保護課) 357万円

「えひめ教育の日」の制定趣旨を普及し定着させるため、えひめ教育月間における県主催事業として、地域の文化財等の価値や魅力を再発見し、その保護活動の実態を学ぶための事業を実施する。

地域の文化財を生かした学習教材作成	
作成委員会の開催	
委員	10人(学識経験者、教員)
回数	2回
オリジナルDVD及び小冊子の作成	
内容	歴史・文化・風土をアピールするDVD・小冊子
部数	DVD 1,100部 小冊子 3,500部
「ふるさとの歴史・文化再発見！」どこでも授業	
対象	小中学校6校(小学6年生～中学2年生)
内容	郷土史や文化財の専門家等によるDVDや小冊子を用いた公開授業
期間	22年11月～12月
「ふるさとの歴史・文化再発見！」親子バスツアー	
コース	しまなみ、四国中央・新居浜、大洲・西予、宇和島方面の4コース
参加者	各コース20組40人
期間	22年11月～12月
「ふるさとの歴史・文化再発見！」スタンプラリー	
内容	県内学習施設をチェックポイントとしたスタンプラリーの実施
期間	22年11月～23年2月